

100ばんめのサル (1986)

メディア 映画 アニメ

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 Color

時間 20分

初公開日 1986/05/25

公開情報 東京メディアコネクションズ

【解説】

人間社会を猿の世界になぞらえながら、核軍拡と戦争の愚かしさを訴える短編劇場アニメ。日本の南の幸島。そこではいつもサルたちが、好物のサツマイモの奪い合いをしていた。ケンカの後のサツマイモは必ず砂の上に落ち、ジャリジャリして食べられない。だがある日、一匹のサルがイモを海に落としてしまう。海水で洗ったイモは塩味も利いておいしい。これ以降、若いサルたちは必ずイモを洗って食べるようになった。当初はこれを無視していたボスザルや老ザルもこれに続き、ついには島で最後の100匹目のサルも同じことを行なう。その時、海の向こうで不思議なことが……。原作はケン・キース・ジュニアの著作で、1986年の国際平和年記念作品。直接的に核の脅威を叫ぶのではなくきわめて寓意的に「固定観念の撤廃」「柔軟な思考」の大事さを通じて、人類が何をなすべきか語っている。ナレーターは吉永小百合が担当。

【クレジット】

演出	安齋一夫
プロデューサー	伊藤正昭 宇田川東樹
構成	安齋一夫
原作	ケン・キース・ジュニア
脚本	櫻井正明
撮影	ティ・ニシムラ 田村実
編集	鵜飼邦彦
音響監督	水本完
音楽	篁ゆき
ナレーター	吉永小百合